

# 介護事業所の業務継続計画の策定 福祉施設の被災事例の紹介

—被災経験施設の防災への取り組み事例の紹介等を通して—

愛知工業大学 工学部建築学科 講師

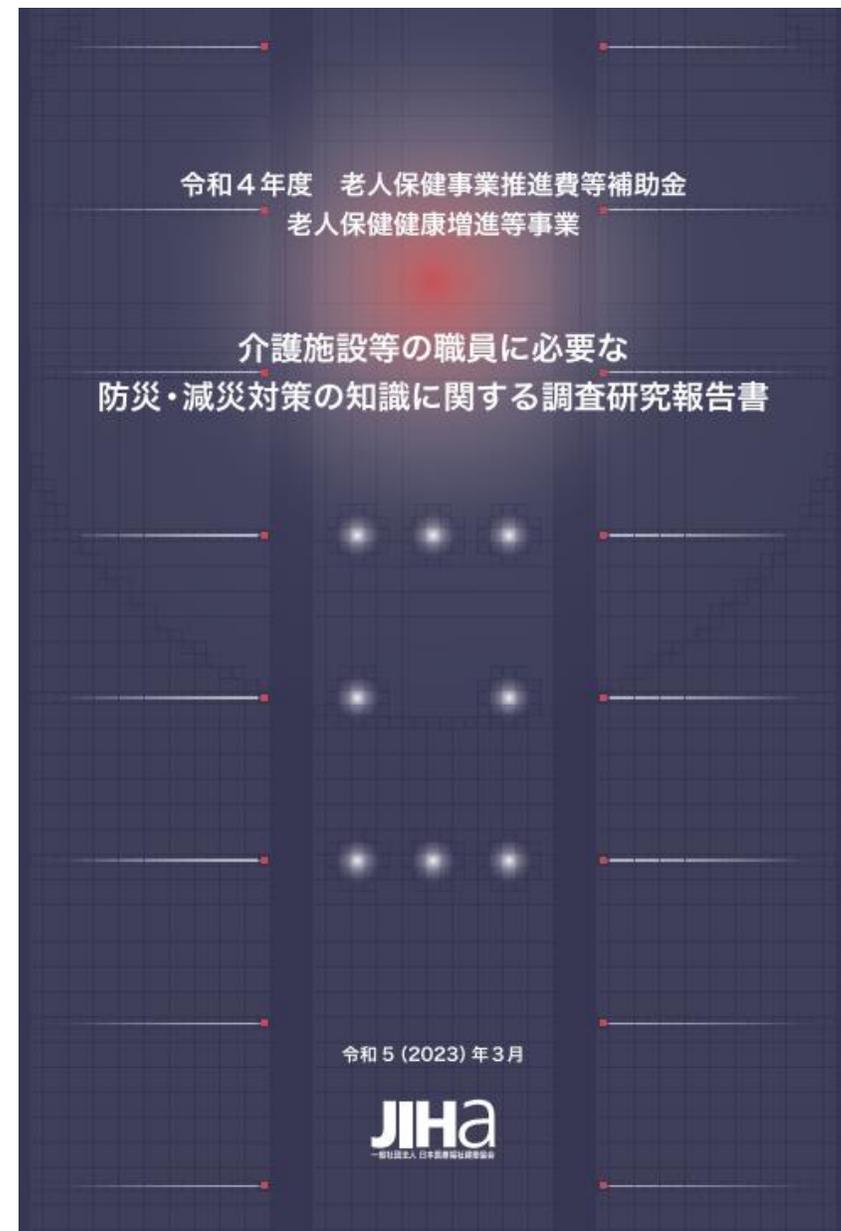
宮崎崇文

# 今日の発表の内容

- 自己紹介
- BCPについて
- BCP作成手順
- 被災施設の訪問調査の紹介
  
- 調査協力をお願い

# 自己紹介

- 宮崎崇文 愛知工業大学 工学部 建築学科 講師
- 専門： 福祉施設計画, 福祉施設の防災計画, 福祉のまちづくり
  
- 医療福祉建築協会（JIHa）の以下の調査に参加
  - 介護施設等の職員に必要な防災・減災対策の知識に関する調査研究 2022年  
2000年以降に水害を受けた施設を対象として訪問調査を実施, 当時の被災状況・避難状況・避難生活から復旧までをヒアリングした.
  - 熊本地震による高齢者施設の被害状況に関する調査研究 2016年  
熊本地震を受けた施設を対象として訪問調査を実施, 当時の被災状況・避難状況・避難生活から復旧までをヒアリングした.



医療福祉建築協会のHPで読むことができます

医療福祉建築協会：<https://www.jiha.jp/>

# BCPについて

- Business Continuity Plan（事業継続計画）
- 「重要な事業を中断させたくない」ことが大切
  - ← 利用者の生活・健康・生命の支障に直結
- BCPには「平常時の対応」「緊急時の対応」の検討が大切

①人（利用者数，職員数）

②モノ（建物・設備）

③周辺状況（ライフライン，周辺環境，納入業者の被災状況）

# BCPの作成状況（2021年11月）

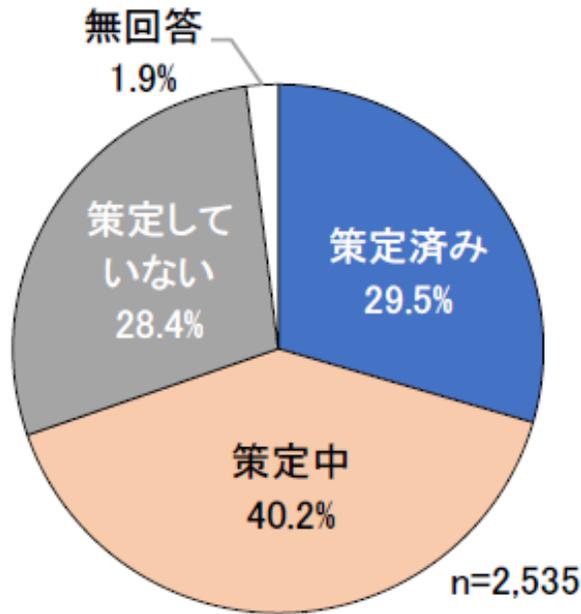


図1 BCPの策定状況

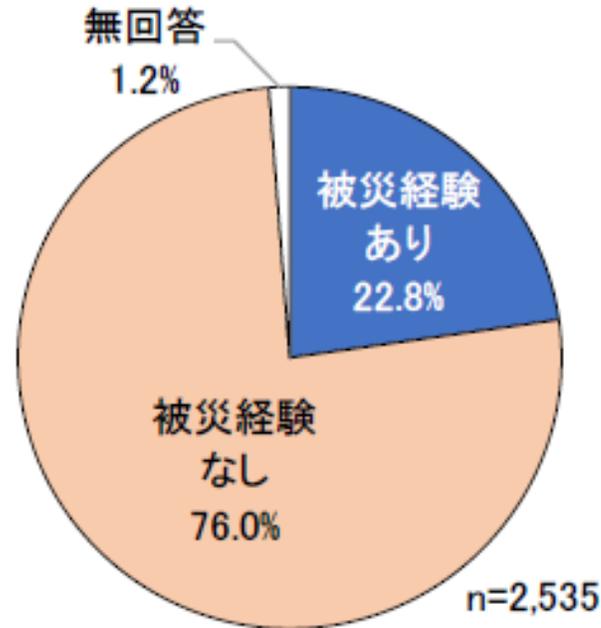


図2 過去5年間以内の自然災害による被災経験

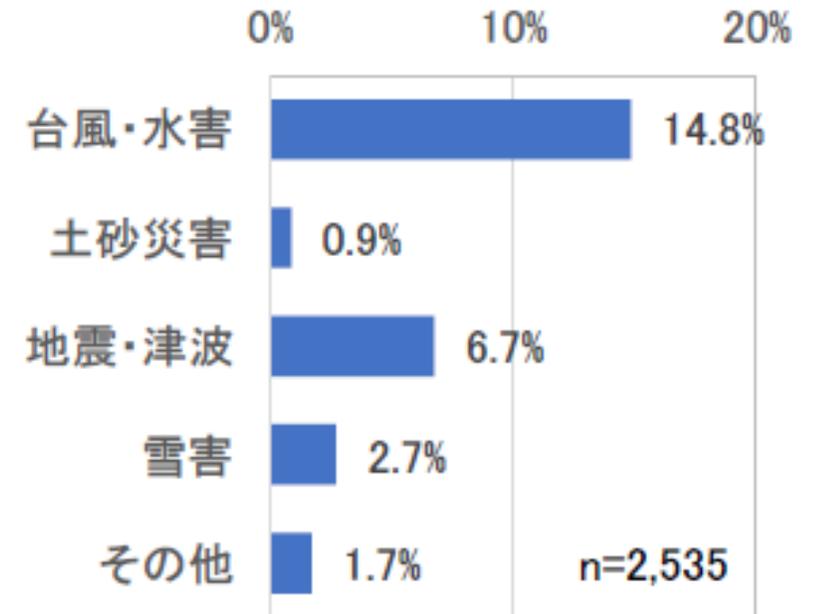


図3 被災時の被害状況

- 被害時の経験がある施設は少ない。 ← 被災経験の共有が必要
- 被害で最も多いのは「水害」 ← 災害によって被害状況が異なる

## 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修

感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることから、介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）の作成を支援するために、研修を開催しました。研修時の資料と作成手順の研修動画（令和3年度）を掲載しましたので是非ご覧ください。

総論等もご視聴いただきますとより理解を深めることができますので併せてご活用ください。

### ガイドライン資料と研修動画の構成

#### 介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等について

介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等については、こちらからダウンロードしてください。

##### <新型コロナウイルス感染症編>

[新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン](#)

・様式ツール集

・感染症ひな形（入所系） ・感染症ひな形（通所系） ・感染症ひな形（訪問系）

##### 【例示入り】<R3年度>

・感染症ひな形（入所系） ・感染症ひな形（通所系） ・感染症ひな形（訪問系）

##### <自然災害編>

・自然災害発生時の業務継続ガイドライン

・自然災害ひな形

#### ▶ 政策について

##### ▼ 分野別の政策一覧

▶ [健康・医療](#)

▶ [子ども・子育て](#)

##### ▼ 福祉・介護

▶ [障害者福祉](#)

▶ [生活保護・福祉一般](#)

▶ [介護・高齢者福祉](#)

▶ [雇用・労働](#)

▶ [年金](#)

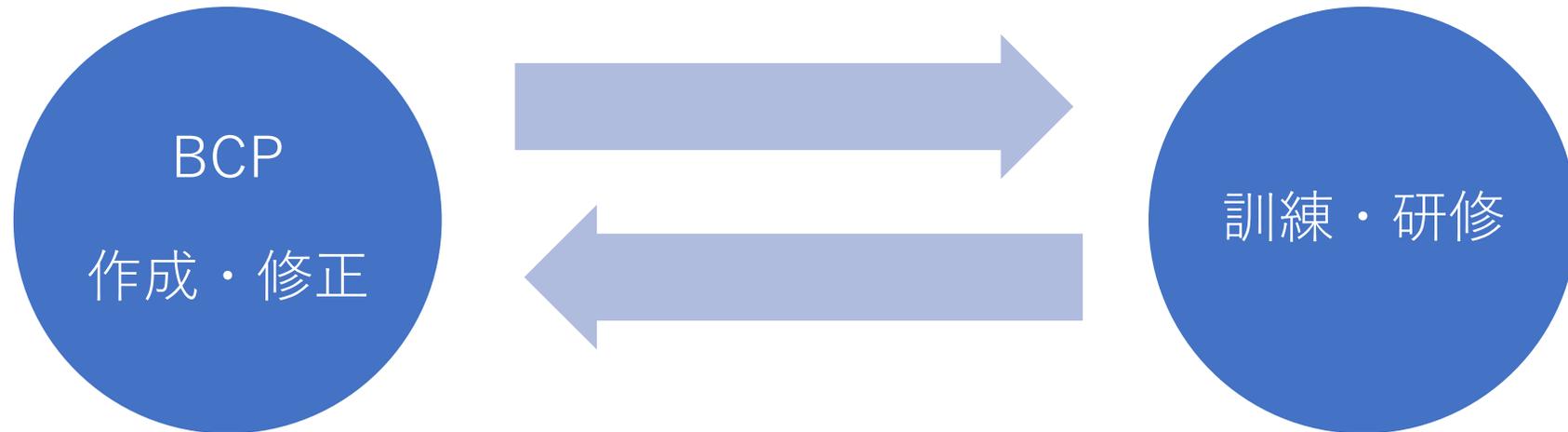
▶ [他分野の取り組み](#)

##### ▶ 組織別の政策一覧



# BCP作成のポイント

1. 正確な情報集約と判断ができる体制を構築
2. 自然対策を「事前の対策」と「被災時の対策」に分けて、同時に対策を準備
3. 業務の優先順位の整理
4. 計画が実行できるよう普段からの周知・研修，訓練



# BCPのひな型

1. 総論
  - 1.1. 基本方針
  - 1.2. 推進体制
  - 1.3. リスクの把握
  - 1.4. 優先業務の選定
  - 1.5. 研修・訓練の実施, BCP見直し
2. 平常時の対応
  - 2.1. 建物・設備の安全対策
  - 2.2. 電気が止まった場合の対策
  - 2.3. ガスが止まった場合の対策
  - 2.4. 水道が止まった場合の対策
  - 2.5. 通信が麻痺した場合の対策
  - 2.6. 情報システムが停止した場合の対策
  - 2.7. 衛生面（トイレ等）の対策
  - 2.8. 必要品の備蓄
  - 2.9. 資金手当て
3. 緊急時の対応
  - 3.1. BCPの発動基準
  - 3.2. 行動基準
  - 3.3. 対応体制
  - 3.4. 対応拠点
  - 3.5. 安否確認
  - 3.6. 職員の参集基準
  - 3.7. 施設内外での避難場所・避難方法
  - 3.8. 重要業務の継続
  - 3.9. 職員の管理
  - 3.10. 復旧対応
4. 他施設との連携
  - 4.1. 連携体制
  - 4.2. 連携対応
5. 地域との連携
  - 5.1. 被災時の職員の派遣
  - 5.2. 福祉避難所の運営

# BCPのひな型

## 1. 総論

- 1.1. 基本方針
- 1.2. 推進体制
- 1.3. リスクの把握
- 1.4. 優先業務の選定
- 1.5. 研修・訓練の実施, BCP見直し

## 2. 平常時の対応

- 2.1. 建物・設備の安全対策
- 2.2. 電気が止まった場合の対策
- 2.3. ガスが止まった場合の対策
- 2.4. 水道が止まった場合の対策
- 2.5. 通信が麻痺した場合の対策
- 2.6. 情報システムが停止した場合の対策
- 2.7. 衛生面（トイレ等）の対策
- 2.8. 必要品の備蓄**
- 2.9. 資金手当て

## 3. 緊急時の対応

- 3.1. BCPの発動基準
- 3.2. 行動基準**
- 3.3. 対応体制
- 3.4. 対応拠点
- 3.5. 安否確認
- 3.6. 職員の参集基準
- 3.7. 施設内外での避難場所・避難方法
- 3.8. 重要業務の継続
- 3.9. 職員の管理
- 3.10. 復旧対応

## 4. 他施設との連携

- 4.1. 連携体制
- 4.2. 連携対応

## 5. 地域との連携

- 5.1. 被災時の職員の派遣
- 5.2. 福祉避難所の運営**

# 行動基準

• 避難するタイミングはいつか？

→ハザードマップを確認（浸水・洪水ハザードマップ等）

→地震・浸水では避難が異なる

## 水害



事前に把握することが可能  
→ 避難のタイミングが重要

## 地震



事前に把握することが難しい  
→ 日頃の備えが肝心

# ハザードマップの確認

び「土砂災害ハザードマップ」などを掲載しています。  
ご家庭や地域での防災対策に、ぜひお役立てください。

## 桑名市防災ハザードマップ

[表紙、裏表紙 \(PDF:1,204KB\)](#)

[目次、桑名市防災マップの使い方 \(1から2ページ\) \(PDF:1,364KB\)](#)

[自宅等の風水害時の災害リスクを把握する桑名市域全体図 \(3から4ページ\) \(PDF:1,610KB\)](#)

[自宅等の震災時の災害リスクを把握する桑名市域全体図 \(5から6ページ\) \(PDF:1,475KB\)](#)

[指定避難所、指定緊急避難場所、津波避難ビル一覧 \(7から8ページ\) \(PDF:2,990KB\)](#)

河川ごとの洪水ハザードマップ

[木曾川、長良川ハザードマップ \(9から10ページ\) \(PDF:1,549KB\)](#)

[揖斐川ハザードマップ \(11から12ページ\) \(PDF:1,538KB\)](#)

[員弁川ハザードマップ \(13から14ページ\) \(PDF:1,644KB\)](#)

**×** [多度川ハザードマップ \(15から16ページ\) \(PDF:1,456KB\)](#)

[肱江川ハザードマップ \(17から18ページ\) \(PDF:1,412KB\)](#)

[新田川、三砂川、流石川、沢北川ハザードマップ \(19から20ページ\) \(PDF:1,497KB\)](#)

[大山田川、新堀川ハザードマップ \(21から22ページ\) \(PDF:7,238KB\)](#)

[喜例川、弁天川、藤川、三弧子川ハザードマップ \(23から24ページ\) \(PDF:1,591KB\)](#)



区域図】

[→ 災害関連マップ](#)

[→ 災害に備える \(リンク集\)](#)

[→ 内水浸水実績マップについて](#)

 同じカテゴリから探す

[→ 災害関連マップ](#)

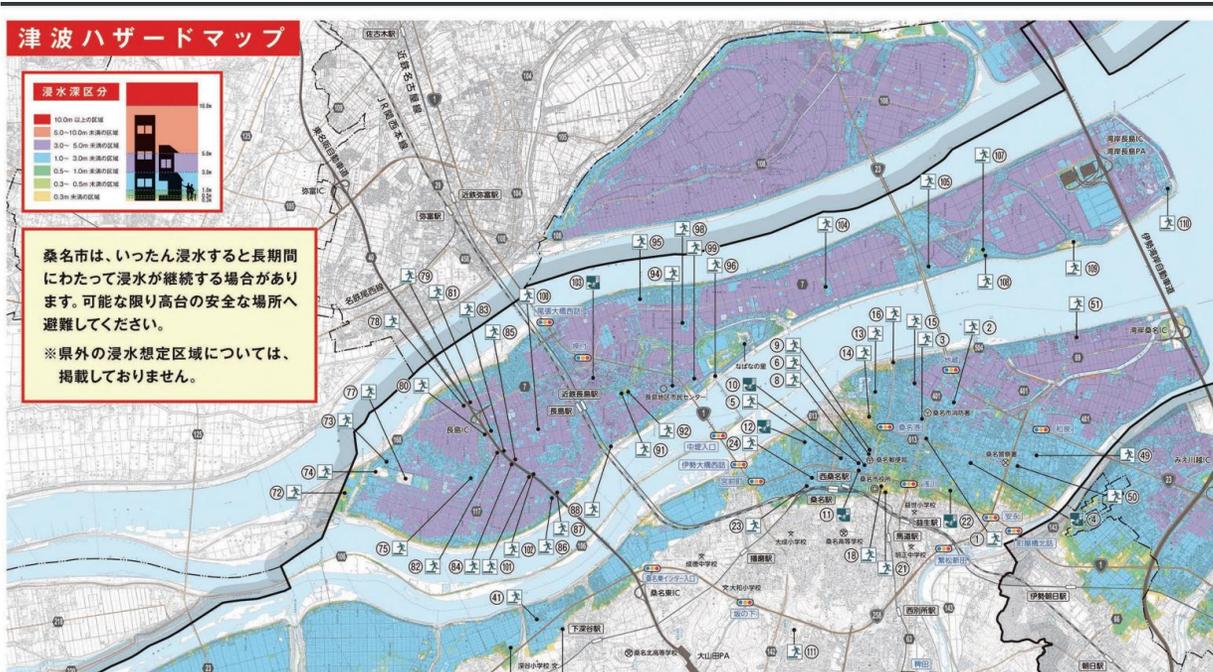
[→ 土砂災害ハザードマップ  
【土砂災害 \(特別\) 警戒  
区域図】](#)

[→ 命を守るみちしるべ 桑  
名市防災マップ\(2021年9  
月発行\)](#)

[→ 内水浸水実績マップにつ  
いて](#)







- ・ 自施設の被害予想を確認。
- ・ 避難先の被害予想を確認。

現在位置: [トップページ](#) > [防災・防犯](#) > [防災・緊急情報](#) > [各種防災関連報告書](#) > [防災情報](#) > [ハザードマップ\(災害予測図\)一覧](#)  
 担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [防災対策部](#) > [災害対策推進課](#) > [企画・体制整備班](#)

いいね! シェアする ツイート LINEで送る 印刷する

- ### 三 各種防災関連報告書
- 防災計画
  - 三重県広域受援計画
  - 三重県消防広域化基本計画
  - 国民保護計画
  - 手引き・マニュアル
  - 被害想定
  - 防災情報
  - 調査・報告書

- ### 三重県防災対策部
- 防災啓発車について
  - みえの危機管理
  - みえの国民保護
  - 防災・震災対策
  - 三重県防災航空隊
  - 消防組織
  - 消防の広域化

### ハザードマップ(災害予測図)一覧

ここでは、三重県が提供するハザードマップが一覧でご覧いただけます。

名称	管理所属	概要
河川の浸水想定区域図	河川課	大雨により堤防が決壊した場合のシミュレーションを行い、浸水が想定される区域と深さを求め、それを図化したものが浸水想定区域図です。この図を基に市町は災害時の対応や避難場所の位置等の情報を具体的に記載した洪水ハザードマップを作成しています。洪水ハザードマップについては各市町のホームページ等でご確認ください。
高潮浸水想定区域図	港湾・海岸課	伊勢湾沿岸において想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に想定される浸水の区域、水深、継続時間を示した図です。この図をもとに今後、市町において、高潮ハザードマップの作成などが行われ、避難体制等の充実・強化が図られます。
土砂災害警戒区域図	防災砂防課	土砂災害が想定される土地を土砂災害警戒区域、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生ずるおそれのある土地を土砂災害特別警戒区域として指定します。
土砂災害危険箇所図	防災砂防課	土砂災害危険箇所とは、過去の土砂災害の実績等から調査方法を定め、土砂災害の発生及び被害の危険性がある場所として設定したもので、以下の種類があります。 ・土石流危険渓流 土石流発生の危険性があり、人家に被害を及ぼす恐れのある渓流 ・地すべり危険箇所 地すべりが発生しているまたは地すべりが発生する危険性がある箇所のうち、河川、道路、公共施設、人家等に被害を与える恐れのある箇所

# 水害被災施設調査の紹介

施設名	A施設	B施設	D施設	E施設	F施設	G施設
災害	令和2年7月豪雨	平成30年西日本豪雨	令和元年台風19号	令和元年台風19号	令和元年台風19号	令和元年台風19号
所在地	熊本県群球磨村	岡山県倉敷市真備町	埼玉県川越市	静岡県駿東郡小山町	長野県長野市	長野県長野市
対象施設種別	特養：40名	地域密着特養：29名	特養：80名	地域密着特養：29名	特養：78名	特養：74名
構造	RC	RC	RC	S	RC	RC
階数	2階建	2階建	2階建	2階建	2階建	3階建
ハザードマップ	浸水想定区域 2m～5m	浸水想定区域 6m	浸水想定区域 4m	土砂災害警戒区域	浸水想定区域 10～20m	浸水想定区域 10～20m
開設年	2000年 (2011年に増設)	2014年	1991年	2011年	2002年	1970年 (2000年改築)
調査日	2022年10月3日	2022年10月5日	2022年10月12日	2022年10月13日	2022年10月20日 オンライン	2022年10月24日

- ・ 殆どの施設がハザードマップは計画前に確認済み
  - ・ 過去に浸水した地域を選んだ事例もあり
- 結果として、浸水した敷地を選択した

- ・ 浸水しても膝程度かと想定していた
- ・ 山上などの高台も検討したが、郊外だと入居者や職員も集まらない。
- ・ 法人所有の土地以外検討していない。
- ・ 福祉サービスのニーズが高かい地域だった。

# 被災経験からの教訓

## ① 浸水水害は早めの対応が必要

- 浸水するとEVが使用できなくなる。EV無の垂直避難は困難。
- 垂直避難するタイミングを決めておく（高齢者避難指示・近隣川の越水など）

## ② 緊急連絡網を構築しておく。

- 電話回線以外の方法も構築が必要。ライングループの使用が多かった。

## ③ ポータブル発電機にはガソリン備蓄が必要。

- 災害時スマホの使用が多岐にわたった（安否連絡、気象情報収集、利用者の受け入れ先への連絡）。そのため電気使用量が膨大に。
- ガソリンの備蓄に注意が必要（保管方法は市に問合せ）

# 被災経験からの教訓

## ④ 避難物品リストの作成

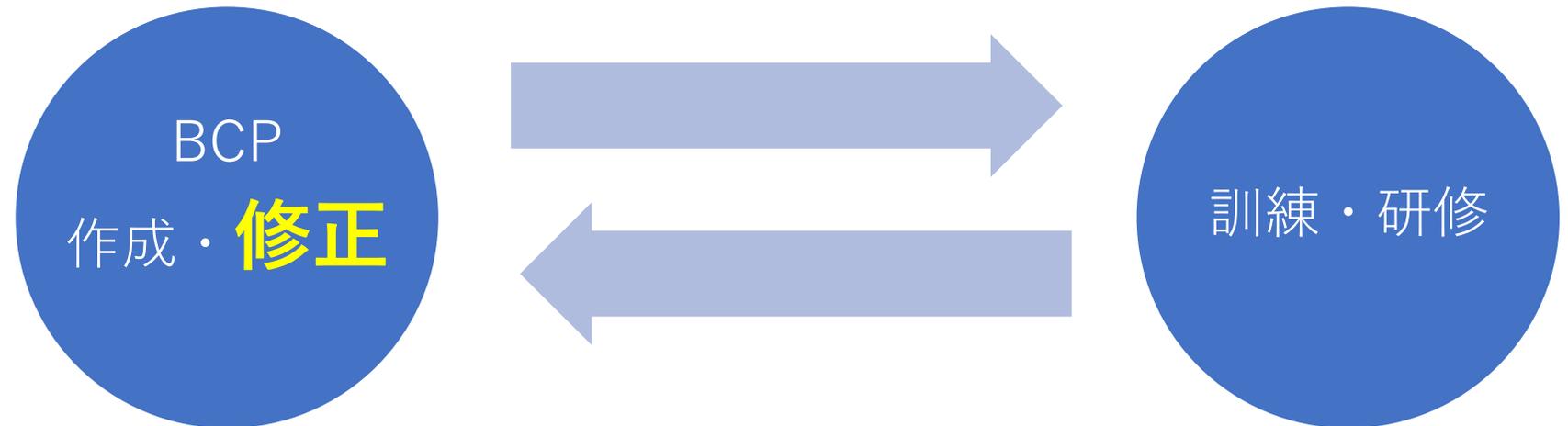
- 人的被害は免れたが、PC・利用者の個人情報ファイルが水没し、事業再家事に大変苦労した施設が多く見られた。
- 人の避難後に、重要物品も移動・避難する工程を計画に盛り込む。
- 紙データをクラウド化を進める。
- 利用者が別施設で避難生活を送る際に、服薬情報等が必要となる。

## ⑤ 備蓄物品の分散保管

- 備蓄物品（介護用品・食料等）を1階に保管していた施設が多く、浸水により使用できない事例がみれた。
- 保管場所を複数の階に分散した。

# BCP作成のポイント

1. 正確な情報集約と判断ができる体制を構築
2. 自然対策を「事前の対策」と「被災時の対策」に分けて、同時に対策を準備
3. 業務の優先順位の整理
4. 計画が実行できるように普段からの周知・研修，訓練



# 介護施設の防災・減災ガイドブック



# BCP調査研究のお願い

現在の宮崎研究室ではBCPに関する研究をしています。BCPの作成については義務化されましたが、その内容についてはこれから実態把握が必要です。各施設が設定するBCPについて、どのような傾向があるか把握し、災害時の備えとして十分か議論する必要があります。調査にご協力頂ければ幸いです。

- 策定したBCP資料を研究室ご提供頂く。（個人情報を除く）
- 備蓄物品リスト・行動基準・連携等のデータを収集・分析します。
- 提供頂いた施設には調査結果の資料を送付いたします。

# 本日の参考資料

1. 厚生労働省老健局：介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン，  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000749543.pdf>
2. 厚生労働省：介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修，  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/douga\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html)
3. (財)日本総合研究所：令和3年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）「介護施設等の防災・減災対策の在り方に関する調査研究事業」，  
<https://www.jri.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/05/saigai-houkokusyo2021.pdf>

ご清聴ありがとうございました